



あすもりサポーター通信



植樹地の木！大きくなっていました。

5月27日(日)、当別町神居尻の「コープの森」植樹地で毎年恒例の育樹(補定)作業を行いました。これは6月9日(土)に行なう当別植樹祭の前に、自分たちの植えた苗木が雪に耐えてどのくらい育っているか見たり、ウサギや野ネズミの食害を確認し、雪の重さで折れてしまった木たちに割り箸とテープで固定する作業です。

今年は、はじめてシカのかじった跡も発見しました。5月8日に下見に行ったときには複雑骨折したようなシラカンバは「今年はもうだめかな?」と思っていましたが、木肌がみずみずしくなり、なんと新緑の葉をいっぱいつけていました。



こんな時は本当にうれしくなって、テーピングにも力がはいります。

割り箸1本で固定出来る木もあれば、親指以上に太く、2メートル近い高さまで育っているのに折れてしまった木もあります。これには2人で協力して何本も割り箸を固定しながら、テープを巻いていきます。地道な作業ですが、森づくりセンターの梅井課長さんから『やっぱり、手をかけてあげると違いますよ。』と励まされながら、今年も無事作業ができました。

白いテープが巻かれた光景は、やはり見ものです。「植樹祭」の時に気が付いてくれればうれしいですね。根踏み作業に参加して下さったサポーターさん、お疲れさまでした。本当にありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

あすもりサポーター 井上 久子



下川町学習ツアー

森の恵みのつながりを、体験学習で知ろう！

コープ未来の森づくり基金が掲げる「循環型の森づくり」を体系的に学ぶ学習企画として、環境未来都市宣言を行った下川町を見学します。森づくりから、木材・エネルギー利用などを見学して、循環型の社会・木質エネルギー利用の学習を体験型で行います。また、サポーターと運営委員が交流し思いを共有する機会とします。このツアーでは、下川町の「NPO 法人 森の生活」の麻生翼氏にプログラム等でご協力いただきます。



開催日時

2012年7月7日(土)～8日(日)



参加費・人数

9800円/1人 40名 ※応募多数の場合には先着順

「NPO 法人 森の生活」
麻生 翼 氏



応募締め切り

6月20日(水)まで

LEAF ナショナルインストラクター



プログラム

■1日目・森林内プログラム (LEAF)
・下川町森林組合北町工場見学
・木質エネルギーに関する下川町の取り組み紹介

■2日目・森林セルフケア体験 [森林内]
・もみの木エッセンシャルオイル蒸留体験
・採れた精油の香りのテイスティング



※宿泊・森の中のホテル「森夢(りむ)」(宿泊施設の都合上、相部屋となる場合がございますことをご承知ください)



お申し込み

お電話での申し込みのみ

コープトラベル(コープさっぽろ旅行事業部)

TEL 011-851-7411

(月～金 10:00～18:00・土 10:00～15:00・日曜日定休)

旅行企画・実施:観光庁長官登録旅行業第1911号

(社)日本旅行業協会 正会員



お問い合わせ

コープ未来の森づくり基金事務局(ひらく)

TEL 011-671-5651

受付時間:平日 9:30～17:30



当別森林ボランティア「シラカンバ」

2005年、3年間の森づくり研修を終えたメンバーを中心に、「北海道の森づくりに貢献しよう」と結成されました。森に人々が入る機会を多くすることが使命と考え、当別町内の森をフィールドに、森林整備の活動を続けています。

具体的には間伐や除伐などの森林整備作業のほか、種子や稚樹を採取して、苗の育成、植樹も行なっています。整備作業で出た間伐材は炭に加工したり、きのこ栽培の原木として利用。地元の人々にも森に親しんでもらおうと、毎年冬にはクリスマスツリー用の松を伐り出して町内に配布しています。森とふれあい、楽しむ方法をより多くの人に伝えるために自然観察会や中学校の森林学習のサポートも行っています。さらに、自分たちの知識技術をステップアップさせるための学習会も定期的開催して、「百年先を見据えた森林づくり」を常に考え、活動に取り組んでいます。



ホームページ <http://www.tobetu-sirakanba.sakura.ne.jp/>

新植樹地で「森を見る・森を読む」体験

～チームあすもり「森づくりワークショップ」第1回を開催しました～



5月27日の根踏み終了後、チームあすもり「森づくりワークショップ」の第1回を開催しました。今回は根踏み参加者のみなさんにも参加いただき、スタッフを含めて総勢30名での新植樹地の探検会でした。バスの中で講師の山本牧さんから森づくりの考え方についてのレクチャーを受け、根踏み終了後、新しい植樹地を歩きました。

各人が自分の白地図を持って、広さや地形を確認し、地図に、ここはなだらかな丘、湿地、ここにはカタクリ、ネコノメソウ、ヤチダモの若木が育っている、と言うように特徴を書き込みました。ネズミやシカなどの動物が木々や植物を食べた痕跡も観察しました。

講師のみなさんから、周辺の森の植生を見て、もとはどんな森だったのか、今、どんな種

が根付きはじめているのか、といった「自然の視かた」「未来の読み方」を教えていただき、森を育てていくために私たちはどんな手助けをすればいいのか、「育てて楽しい、訪れて楽しい森」はどんな森だろう、といった森づくりプラン作成のヒントをたくさん見つけることができました。



森づくりワークショップ講師のみなさん ※左から
山本 牧さん (NPO法人もりねっと北海道)
鈴木 玲さん (雪印種苗株式会社)
木村 浩二さん (雪印種苗株式会社)

- 「森づくりワークショップ」は、まだ若干名参加が可能です。事務局にお問合わせください。
- 次回、第2回は7月16日(月・祝)開催予定です。

あすもり★森づくりワークショップのブログをつくりました。
<http://asumoriws.blogspot.jp/>

あすもり事務局から

助成団体の植樹祭に参加しました。

季節外れの雪の便りが伝えられた5月12日。2012年度高額助成団体である「川田工業(株)・NPO法人トカプチの森 森づくり実行委員会」主催の植樹祭に参加してきました。

この植樹祭は川田工業の植樹の取り組み20周年、そして、NPO法人トカプチの森の設立10周年を記念する植樹祭。さらに今回は、川田淳理事長様が「平成24年緑化推進運動功労者表彰・内閣総理大臣賞」を受賞。記念づくめの植樹祭となりました。

天候もそれを祝うかのように晴れ、120名の参加者が800本のブナの苗木を植樹しました。ブナの木は20年の植樹経験の中でも、初めてのチャレンジとなる樹種。一本一本、無事に育つようにと丁寧に植えられていました。



森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

『ふゆめ がっしょうだん』

写真/富成忠夫、茂木透、文/長 新太
発行元/福音館書店



『きのめだよ はるになれば はが でて はながさく...』。24種類のきのめたちの冬芽の写真に、長新太さんの文が添えられています。じっと見ていると、冬芽がウサギさんやコアラ君の顔に見えてきます。春、散歩をしながら木の名前がわかります。ぜひごらんください。